

様式第6号（第7条関係）

令和6年11月29日

（宛先）春日市議会議長

議員氏名又は会派の
名称及び代表者氏名

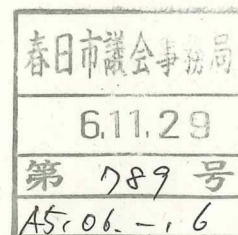
さんかく春日
代表 西川 文代

政務活動費収支報告書

春日市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定により、下記のとおり令和6年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

- 1 令和6年度政務活動費収支報告書（別紙1）
- 2 添付書類
 - （1）調査研究・研修報告書（別紙2）
 - （2）旅費計算書（別紙3）
 - （3）領収書（別紙4）
 - （4）支払証明書（別紙5）
 - （5）その他



別紙 1

令和 6 年度政務活動費収支報告書

議員氏名又は さんかく春日
会 派 の 名 称 代表 西川 文代

1 収 入
政務活動費 175,000 円

2 支 出

項 目	金 額	主な支出の内訳
調 査 研 究 費	円	
研 修 費	30,360円	自治体議会研究所セミナー、輝け議会研修等
広 報 費	円	
広 聴 費	円	
要請・陳情活動費	円	
会 議 費	円	
資 料 作 成 費	円	
資 料 購 入 費	9,400円	ポストコロナ時代の自治体議会改革講義、SOUNDカード
人 件 費	円	
事 務 所 費	円	
事 務 費	21,253円	インク代等
合 計	61,013円	

3 残 額 113,987 円

会派政務活動費明細書(令和6年度) さんかく春日

NO	日付	金額	目的	明細	支払先	備考
----	----	----	----	----	-----	----

(收 入)

	4/10	300,000	政務活動費			
--	------	---------	-------	--	--	--

(支 出)

1	5/20	3,000	研修費		自治体議会研究所	自治体議会セミナー
2		2,500	資料購入費		自治体議会研究所	資料購入費
3	5/21	3,000	研修費		自治体議会研究所	自治体議会セミナー
4		2,500	資料購入費		自治体議会研究所	資料購入費
5	8/6	4,000	研修費		輝け！議会	
		2,240	交通費	須玖小～志免	西鉄、JR、福岡市	
6	8/7	4,000	研修費		輝け！議会	霧島市開催
		5,120	高速代	10, 240÷2	NEXCO	
7	8/19	3,000	研修費		自治体議会研究所	
8		2,000	研修費		自治体議会研究所	
9	8/24	9,385	事務費		MrMax	消耗品費
10	9/7	2,000	研修費		輝け！議会	
11		2,000	研修費		輝け！議会	
12	9/9	4,400	資料購入費		オーセンティック ワークス(株)	SOUNNDカード
13		1,000	事務費			
14	10/26	10,868	事務費		ヤマダデンキ	消耗品費
	11/14	125,000	解散に伴う返還金			
	合 計	186,013				
	残 高	113,987				

調査研究・研修報告書

議員氏名又は

北田 織

会派の名称

研修会名称 研 修 内 容	議員の資質向上と議会力の向上 「議会改革の底辺から底辺の改革へ」
日 時	令和6年5月20日午後1時30分より4時まで
研修先場所	佐賀県伊万里市・立花コミュニティセンター
目 的	①議会運営の本質を学ぶ ②議員力・議会力を強化するためには何が必要か ③政策提案・政策提言機能を強化するには何が必要か
内容及び所感 (市政の課題 に対して参考 になった事項 など)	ポストコロナ時代の自治体議会改革講義の著者である自治体議会研究所代表・高沖秀宣先生のフォーラムに参加した。フォーラムで学び、心掛けたいことと取り組みたいことは下記の事項である。①議会運営の基本として、憲法93条で定められている議事機関として議会を設置する趣旨は、審議する、熟議することである。地方自治法89条第1項に「議会は議事機関」と明確に規定されていることを考えると、議会の役割は議決以上に審議すること、熟議することが重要である。②議員力・議会力の強化として、二代表制における議会の存在意義は議員としてではなく、議会として議会力をどう発揮するかの強化体制づくりが重要である。そのことが、二代表制を実質化していくことになる。③二代表制を実践するために、住民の議会への参画推進から議員のなり手を要請するためにも議会モニター制度の導入が必要である。また、議会は付属機関を設置することは可能です。現在の議会評価を議員の内部評価から外部の第三者機関を設置し、評価を受ける体制づくりが重要と考える。④議会力向上のために、一般質問においては「検討します」の答弁に聞置くだけでなく、「いつまでに検討するのか?」「その検討の結果を、いつどこで示すのか」を質問中に市民の前で答弁させて確認することが重要であること。 その他として、執行機関と議会は両輪であると言われるが、議会の両輪は事務局である。事務局と力を合わせて議論し、議会力の強化や政策立案を実現させていかなければならない。議会力は議会と事務局との総合力であると痛感している。先進事例として、奥州市議会の「将来の公共施設の在り方に関する政策提言」に至った経緯等を学んだ。所属する委員会では、閉会中の所管事務調査のみならず、定例会中の所管事務調査の取り組みもして参りたい。

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号

議員氏名（会派の名称）： さんかく春日

経
費
項
目

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費
資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。

※ 領収書貼付欄（領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。）

領 収 書

さんかく春日

2024年5月20日

北田 織 様

¥ 3,000-

上記正に領収いたしました。

但し、「自治体議会セミナー」受講料として

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545）

代表 高 沖 秀 宣

別紙 2

調 査 研 究 ・ 研 修 報 告 書

議員氏名又は会派の名称

さんかく春日 西川文代

調 査 事 項 研修会名称	自治体議会セミナー 自治体議員研究所 代表 高沖秀宣
日 時	令和6年5月21日（火） 13：00～16：00
視 察 先 場 所	大野城市 ふるさと館 会議室
目 的	未来に向けた持続可能な自治体経営を考える上で、二元代表制の一翼を担う地方自治体議会は、市民を代表する最終意思決定機関という大変大きな責任がある。 現状として、春日市議会も、市民に信頼される、市民の代表機関にふさわしい改革を早急にしていく必要があると1期目から確信し、積極的に議会改革について情報収集し、議会運営委員会の委員として活動する際には提案や発言をしてきた。 本研修は、元議会事務局職員の高沖氏が地方自治体議会の底上げをする必要があると地方自治体研究所を立ち上げられ、全国で研修事業を展開されているものであり、近隣の大野城市で開催される好機であったため、今後の春日市議会の改革に役立てたいと考え受講した。
内容及び所感 (市政の課題に対して参考になった事項など)	講師高沖秀宣氏の著書である「ポストコロナ時代の自治体議会改革講義」をテキストとして研修が進められた。 議会基本条例が登場してから約20年が経過したが、議会改革が進むにつれて議会間格差がみられるようになり、改革の先頭を走る「先駆議会」、議会基本条例は制定してもなかなか実行が伴わない「居眠り議会」、旧態依然の「寝たきり議会」の3つがあると説明を受けた。このことに当てはめるならば私は1期目時点では春日市議会は「居眠り議会」と判断しており、見直し規定もなく10年間そのままになっていた議会基本条例の改正の必要性を、当時所属していた会派代表に伝え、会派から提案したことをきっかけとし、見直しがされた経緯があった。 その時の見直しでは改革はさほど進まなかったが、定期的に見直しが必要かを検討し、必要であれば見直す、見直し規定が追加されたことは改正の大きな意義であったと考える。 今期3期目は、二元代表制のもと執行機関の監視、チェック機能と政策提言力を高め「先駆議会」へと改革し進んでいくことを

目指し、その後、議会運営委員会の中で広報広聴機能（市民の声を聴く場）の充実も含めた議会のアクションプランを作成して議会改革を進めることの必要性を提案した。また、来期に向けて議長副議長の所信表明導入の必要性も提案し、今期は、先進議会への歩みが一步一步進んでいるところであると考えている。

また、自治体議会改革の課題としては、①議会への住民参加 ②議員間討議・自由討議と議会からの政策提案 ③議会事務局開拓④住民改革 と説明を受けたが、これは、以前より学んできた、ローカルマニフェスト推進連盟や、輝け！議会 対話による地方議会活性化フォーラムの学びと同様の考え方であり、特に④に関しては、議会改革を志して活動する中で、特に重要である、と考えているため、実際に住民と共に情報を共有しながら活動するため、積極的に本会議の採決や一般質問はもちろん、議会運営委員会や常任委員会への傍聴を住民に呼びかけて議会の場に足を運んでいただき、その結果議会に対して興味関心を示し、意識が高まった住民が増えたと感じている。

当日のテキストであった著書は、何かあったら議会に、議員に声を届けよう、受け止めて活動してくれる頼れる議会。議員だから、と信頼される議会、議員を目指すうえで大いに参考になりたい。

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号

議員氏名（会派の名称）： さんかく春日

経 費 項 目	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費
	資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。

※ 領収書貼付欄（領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。）

③ ✓

領 収 書 さんかく春日 西川 文代 様 2024年5月 2 / 日 ¥ 3, 000 - 上記正に領収いたしました。 但し、「自治体議会セミナー」受講料として 自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木545） 代表 高 沖 秀 宣	
--	--

別紙 2

調 査 研 究 ・ 研 修 報 告 書

議員氏名又は会 派 の 名 称

さんかく春日 西川文代

調 査 事 項 研修会名称	住民と議会×地方創生～地方創生に市民と共にそう向き合う？ 輝け！議会 対話による地方議会活性化フォーラムin 志免町
日 時	令和6年8月6日（火） 13：00～17:00
視 察 先 場 所	志免町総合福祉施設 シーメイト
目 的	地方議会は、地方自治に貢献することが役割であり、その中でも、地方創生は地域社会の未来を決定づける重要なテーマであるとする。 私が議員になった2015年は春日市の第1期春日市人口ビジョンまち・ひと・しごと創生総合戦略のもと、春日市版地方創生がスタートした年であり、一般質問においても、春日市の地方創生を多く取り上げ、そのための政策の在り方や進捗を確認し、その取組の仕方についてなど提言してきてきた。 春日市議会としても、春日市の地方創生について積極的に議論し関わっていく必要があり、春日市の課題やニーズを議会で議論し具体的な政策を提言、必要な条例を制定するなどが重要であると考えている。常任委員会の閉会中の調査にも活かせる内容であり、今後の議会改革にとっても貴重な情報が得られる機会になると考え参加した。
内容及び所感 (市政の課題に対して参考になった事項など)	第1部 講演「地方自治でできないことはない」 講師 前武雄市長 樋渡啓裕 講演「住民自治の根幹としての議会」 講師 大正大学教授 江藤俊昭 第2部 ワークショップ 「地方創生に住民と議会はどう関わる？」 コーディネーター 神吉信之 (ローカルマニフェスト推進ネットワーク) 第3部 ディスカッション 丸山卓嗣（志免町町議会議長） 小池弘基（粕屋町議会議長） 江藤俊昭（大正大学教授） コーディネーター 神吉信之 (ローカルマニフェスト推進ネットワーク)

武雄市長として進めてきた政策が、武雄市の地方創生に大きく寄与した取組の事例を学び、地方創生とは、まさに、そのまちの特性や資源を最大限に生かして、市民と共に進めていくもの、ということを実感した。

また、住民自治の根幹となっていく議会改革の必要性を改めて強く認識する学びになった。

春日市の地方創生については、これまで同様に議員個人として、また常任委員会として、十分に調査研究した上で、住民の声を大事にしながら調査研究し提言していきたいと考える。

このフォーラムには主に九州各地から多くの地方議会議員が参加することから、貴重な情報交換ができることも大変有益なことである。この議員同士のつながりも大事にし、学び合う精神で情報交換をしながら切磋琢磨して議会改革を応援し合いながら進めていきたい。

この研修をきっかけに10月には、武雄市図書館を視察し、館長による図書館のコンセプトや事業の先進的な取組のレクチャーを受ける機会や、前武雄市長樋渡さんとの意見交換も実現した。

旅費計算書

議員氏名又は

さんかく春日

会派の名称

日 程	令和6年8月6日(火)	
研 修 先	志免町公民館	
研修内容	輝け！議会 対話による地方議会活性化フォーラム	
交通手段	☒ 公共交通機関 ☐ その他（レンタカー）	
	西鉄須玖小～南福岡駅（往復）	540 円
	南福岡駅～博多駅（往復）	460 円
	博多駅～福岡空港（往復）	520 円
	福岡空港前～志免（往復）	720 円
		円
		円
		円
		円
		円
		円
		円
		円
		円
		円
		円
		円
		円
合 計		2,240 円

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号

議員氏名（会派の名称）： さんかく春日

経費項目	調査研究費・研修費・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費 資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。
------	---

※ 領収書貼付欄（領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。）

— 領 収 証 —	
さんかく春日 春日市議会議員 西川 文代 様	令和6年8月6日 NO. 34
金 額 4, 0 0 0 円	
住民＋議会×地方創生 輝け！議会 対話による地方議会活性化フォーラム in 志免の受講料として、上記領収いたしました。	
〒813-0012 福岡市東区香椎駅東 2-13-18 ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州 代表 神吉 信之	

支払証明書

支払金額	2,240円
支払年月日	令和6年8月6日
支払先	J R 西日本、西鉄バス、福岡市営地下鉄
支払事由	糟屋郡志免町で開催された輝け議会研修会に参加した往復の旅費
領収書を徴することができなかつた事由	西鉄バス、JR西日本、福岡市営地下鉄利用（須玖小～南福岡駅～博多駅～福岡空港～志免）のため

上記の通り支払ったことを証明します。

議員氏名又は

会派代表者氏名 西 川 文 代



別紙 2

調 査 研 究 ・ 研 修 報 告 書

議員氏名又は会 派 の 名 称

さんかく春日 西川文代

調 査 事 項 研修会名称	もっと引き出せ！議会の力～市民×議会 市民と共働する議会へ 輝け！議会 対話による地方議会活性化フォーラムin 霧島
日 時	令和6年8月7日（水） 13：00～17:00
視 察 先 場 所	霧島市国分総合福祉センター 大会議室
目 的	議会改革の本旨は、いかに住民自治に貢献する議会になれるか であるとする。 そのためには、議会はもっと住民に寄り添い、住民の意見に耳 を傾けることが重要であることはもちろんのこと、住民と共に、 議会のあるべき姿を創っていく必要があるが、この趣旨のもと、 本フォーラムは開催されている。そのことに賛同し各市町村議会 で活動する、多くの市町村議員や市町村民と、共に住民自治を考 える貴重な学びと意見交換の場であるフォーラムに参加すること は、これからの春日市議会の改革に活かしたい貴重な視点や情報 を持ち帰ることができると思え参加した。
内容及び所感 (市政の課題に 対して参考にな った事項など)	第1部 事例発表 事例1) 霧島市議会 議員 山口ひとみ 「広く市民にお知らせし、広く聴くための努力を惜しま ない」霧島市議会のチャレンジ 事例2) 古賀市議会 議員 奴間健司 「行政課題を先取りした政策提言」古賀市議会の政策サ イクル 講演「市民共働型の議会を目指すために」 講師 大正大学教授 江藤俊昭 第2部 ワークショップ 「市民と共働議会をどう創る？」 コーディネーター 神吉信之 (ローカルマニフェスト推進ネットワーク) ディスカッション 「市民と共働議会をどう創る？」 山口ひとみ(霧島市議会議員) 奴間健司(古賀市議会議員) 江藤俊昭(大正大学教授)

コーディネーター 神吉信之

(ローカルマニフェスト推進ネットワーク)

霧島市議会の、市民の意見や要望を聴き取る場を豊かに創っている広聴機能の充実と、議会での活動に興味を持ち、その議論の過程も分かりやすく伝わるよう議会だより等を工夫し改善する広報機能の充実の事例は、春日市議会にも大変参考になり活かせる内容であった。

また古賀市議会の取組は、市政の課題について先取りして議会で取り上げて、市民の意見を集約しながら政策立案するサイクルを創り、実際に運用ができているという事例であり、今年度から広聴機能を高めて、そこで拾い上げた意見を市政課題検討会議で検討し、テーマを決めて調査研究し提言するサイクルをまわしていこうとしている春日市議会にとって、参考にできる内容が多くあった。

住民自治を高めていくという役割を果たせる議会改革の在り方を学び情報収集できる機会となった。

この学びや交流を活かし、春日市議会の政策立案サイクルの在り方をより良く確立できるように活動をしていきたいと考えている。

このフォーラムには主に九州各地から多くの地方議会議員が参加することから、貴重な情報交換や今後につながる繋がりを構築できることも大変有益なことである。事例発表をされた、いい形で議会改革を進めている霧島市議会や古賀市議会との情報交換も大事にし議会改革に活かしたい。

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号

議員氏名（会派の名称）： さんかく春日

経 費 項 目	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費
	資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。

※ 領収書貼付欄（領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。）

— 領 収 証 —

⑥

さんかく春日

春日市議会議員 西川 文代 様

令和6年8月7日

NO. 20

金 額 4, 0 0 0 円

もっと引き出せ！議会の力 輝け！議会 対話による地方議会活性化フォーラム
iin 霧島の受講料として、上記領収いたしました。

〒813-0012 福岡市東区香椎駅東 2-13-18

ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州

代表 神吉 信之

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

利用証明書

料金所 溝辺鹿児島空港

お問い合わせは、西日本お客さまセンター
フリーダイヤル 0120-924-863
上記番号をご利用になれないお客さまは
06-6876-9031 (通話料有料)

24年 8月 7日 10時56分

車種 普通

通行料金 ¥5,460-

※通行料金の消費税率は10%です

(外訳)

-入口料金所- 太宰府

有効期限**年**月

会員番号 (支払 - 1回払い)

AID:A0000000651010

承認番号:001628

ETC車載器購入助成キャンペーン実施中!

★★今がおトク最大10,000円割引★★

西日本高速道路株式会社

大阪府大阪市北区堂島1-6-20

登録番号:T3120001112341

取扱番号204-01060825-00

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

利用証明書

料金所 太宰府

お問い合わせは、西日本お客さまセンター
フリーダイヤル 0120-924-863
上記番号をご利用になれないお客さまは
06-6876-9031 (通話料有料)

24年 8月 8日 17時39分

車種 普通

通行料金 ¥4,780-

(外訳)

-入口料金所- えびの

ETC 有効期限27年 5月

会員番号 (支払 - 1回払い)

ETC車載器購入助成キャンペーン実施中!

★★今がおトク最大10,000円割引★★

西日本高速道路株式会社

大阪府大阪市北区堂島1-6-20

取扱番号215-01561515-00

$$5,460 + 4,780 = 10,240$$

$$10,240 \div 2 = 5,120 \text{ 円}$$

田中議員と2名で参加したため

別紙 2

調 査 研 究 ・ 研 修 報 告 書

議員氏名又は会 派 の 名 称

さんかく春日 西川文代

調 査 事 項 研修会名称	自治体議員セミナー 自治体議員研究所 代表 高沖秀宣
日 時	令和6年8月19日（月） 13：00～16：00
視 察 先 場 所	春日市議会棟 第2会議室
目 的	5月に大野城市で受講した、自治体議員研究所代表高沖秀宣氏の講座の内容がとても充実しており、春日市議会の有志の議員で高沖氏に質問形式で個別の内容に対するレクチャーを受けることができる研修会ということで、貴重な学びと情報交換の機会と考え参加した。 高沖氏は元三重県議会事務局職員で、三重県議会の議会基本条例制定に関わり、議会改革に携わっておられ、地方議会の実情や今後の改革の必要性など現場感覚に優れ、また、地方議会のあるべき姿、本旨についても見識が高く、地方議員、地方議会の専門家としてとても頼りになる存在だと考えている。春日市の意見書の取り扱いの変更について、専門家としてどのように考えられるのか質問し、その見解も聴いてみたいと考え受講した。
内容及び所感 (市政の課題に対して参考になった事項など)	講師高沖秀宣氏の著書である「ポストコロナ時代の自治体議会改革講義」も参考資料として研修が進められた。 主に参加者からの質問に答える、質疑応答の時間を長く取る形で研修で、議会の本旨はという基本的なことの説明と、参加した議員から日ごろからの疑問、今回は特に意見書の取り扱いの変更についての考え方や是非について、専門家からの見解やアドバイスをいただくことができ、今後の活動の方向性を確認できる機会となった。 意見書については、議員に与えられた、議案が提出できる権利、地方自治法112条と、賛成者が2名以上いれば本会議に提出できる、春日市議会会議規則14条で規定されている通りに、これまでは取り扱いがなされてきた。しかし9月定例会から、本会議前に開催される代表者会議開催時点で賛成者の署名が過半数ない意見書に関しては、本会議に上程できないことが申し合わせになった。このことについては、明確に改悪との見解をいただいた。過半数に満たない意見書であっても本会議に提案できるように変え

	ていくべきと考えるため、それに向けて活動していく。
--	---------------------------

調査研究・研修報告書

議員氏名又は

北田 織

会派の名称

研修会名称 研 修 内 容	議員の資質向上と議会力の向上 「議会改革の底辺から底辺の改革へ」
日 時	令和6年8月19日午後5時30分より7時まで
研修先場所	大仙（春日市紅葉ヶ丘東1丁目）
目 的	①議会運営の本質を学ぶ ②議員力・議会力を強化するためには何が必要か
内容及び所感 （市政の課題 に対して参考 になった事項 など）	私の呼びかけで自治体議会研究所代表・高沖秀宣先生を招いて、議会棟会議室において議員有志で上記の演題を中心に高沖先生に質問し、答えていただく形式で勉強会を行った。当日は私の呼びかけにもかかわらず、私自身が参加できなかったことから、先生のご配慮で「特別講座」の提案があり、終了後に、行われた。参加者は勉強会に参加した議員二人にも出席してもらった。内容は9月議会から導入される意見書の取り扱いについてが主で、その他議会改革、政策提言の取り組みについてでした。意見書の取り扱いについては、議会運営員会で決定している意見書調整の流れを基に意見を聞きました。高沖先生の意見は私が発行している「北田ジャーナル」に専門家の意見として掲載している通りです。議会が討論の広場であることを考えると決定事項に疑問を抱いています。しかし、議会が決定したことですから議会人として守る必要があります。決定事項ではありますが、それでよいのかとの「問いかけ」は、常に議員として持ち合わせる必要があります。議員として、議会人としての在り方を尋ねてみました。また、議会改革とは何かとの意見交換もできました。先生から次のような指摘がありました。議会改革とは、二元代表制を追求するのではなく、いかに実質化していくか。これが本質である。そのためには、議会が二元代表制の下で、議会の役割を十分に発揮するために、その機能強化に取り組んでいるか。一人の意見は議会の意見ではない。「機関としての議会」が実現されているか？「二元代表制」が実践されているかを常に心がける必要があること。その議会改革度を測る基準として、早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度調査を紹介された。調査の観点いわゆる議会が果たすべき役割を①「情報共有」本会議などの議事録や動画、政務活動費、視察結果の公開等、②「住民参加」傍聴のしやすさ、議会報告会などの実施、住民意見の聴取等、③「議会機能の強化」議会本来の権限・能力を発揮するための機能強化状況等から行い、毎年ランキングが発表されています。参考にしたい。

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号

議員氏名（会派の名称）： さんかく春日

経 費 項 目	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費 資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。
------------------	--

※ 領収書貼付欄（領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。）

領 収 書

(7)

さんかく春日
しんが川 文代様

金 3, 000 円

上記正に領収いたしました。

ただし、「8月19日議会改革勉強会」講師謝礼として。

令和6年8月19日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木545）

代表 高 沖 秀 宣 印

領 収 書

(8)

さんかく春日
しんが川 文代様

金 2, 000 円

上記正に領収いたしました。

ただし、「8月19日議会改革勉強会」講師謝礼として。

令和6年8月19日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木545）

代表 高 沖 秀 宣 印

別紙 2

調 査 研 究 ・ 研 修 報 告 書

議員氏名又は会 派 の 名 称

さんかく春日 西川文代

調 査 事 項 研修会名称	「対話する議会・議員」を目指して～ 「sound カード」の議会での活用法～「見える化」×「言える化」 輝け！議会 対話による地方議会活性化フォーラム主催
日 時	令和6年9月7日（土） 13：30～16：30
視 察 先 場 所	大野城市 社会福祉協議会
目 的	議員間討議を活発化し、議案審査や政策提言の質を向上させ、市民の声を市政に反映していくためには、市民と議員、議員と議員の対話力を高めていく必要があると考える。 今回の研修は、まだどのようなものか未知数であるが、soundカードを実際に使用したワークショップ形式の研修ということで興味もあり、今後の春日市議会や議員としての対話力の向上に活用できる内容であると考え受講した。
内容及び所感 (市政の課題に対して参考になった事項など)	Soundカードの説明とその活用方法、また、実際に使って体験をするという研修内容であった。 そもそも、議会も含め、あらゆる会議等は以下のことを実現していく必要があると学んだ。 ① 誰も発言しない、声の大きい人の話だけが重視されるというよくある会議から、みんなでつくる新しい会議へ ② 言い出しづらいこと、聞きたいけど聞けないことも、自然と言える ③ 表面的な議論にならない深い議論へ ④ 「しっかり話し」「しっかり決める」を可能に また、講師は対話による地方議会の活性化を進めるためには、それを具現化するための具体的な手法を提示する必要があるが、それができないことにジレンマを感じていたとの話があった。そのような中soundカードというツールに出会い、それを活用することで対話力の向上、深い議論の実現等を可能にすると考え実践し、現在議会での活用を広げられその事例も紹介された。 委員会討議において、このカードを活用した結果議論が深まり、賛成や反対か、極論での判断ではなく、委員会で修正案を提出しそれが可決される、ということも起こっているとのことで、今後のあるべき議会の方向性とそのために必要な議会のあり方を見据えることができた。

	修正案可決は議会からの政策提言との話もあり、このようなことができる春日市議会へ成熟が求められると感じ、そのような方向性を実現するために活動していきたいと考える。
--	---

調査研究・研修報告書

議員氏名又は

北田 織

会派の名称

研修会名称 研 修 内 容	「輝け議会！ 対話による地方議会活性化フォーラム 「SOUNDCARDの議会での活用法」
日 時	令和6年9月7日午後2時より5時まで
研修先場所	大野城市社会福祉協議会
目 的	①委員間討議等議会における協議の円滑な運営のため ②市民との意見交換会等での闊達な議論と円滑な運営のため
内容及び所感 (市政の課題 に対して参考 になった事項 など)	現在、各自治体や議会で行われているSOUNDCARD活用研修に参加しました。講師は青森大学社会学部教授・佐藤敦氏。議会での委員間討議や市民との意見交換会又は懇親会でのファシリテーターを務めることに大変な思いをしています。ファシリテーターやリーダーの役割は、参加者の心理的安全性を確保して、皆が思うことを自由に話せる空間作りだと言われますが、実際に実現するのは至難の業です。輝け！議会のメンバーからファシリテーターが身に着けておきたい補助ツール・SOUNDCARDの活用研修会があるとの誘いで参加しました。ワークショップと演習で学んだことは、SOUNDCARDは、話し合いを活性化させ、チームの目標達成を支援するツールということです。使い方は意外と簡単で、テーマに沿って多種多様な「質問」が書かれたカードを自由に選び話すことで、相手を認め合いながら合意形成を図っていく新しい対話型討議形式ではないかと考えます。この方式だと誰でも自由に気軽に参加できます。その意味では、「心理的安全性」を高め、「目指したい方向性」を見えるかし、「具体的な行動」を決定するためのミーティング補助ツールといえます。 既に、議会においては、全国町村議会議長会主催の全国町村議会事務局職員研修会で活用され、滋賀県栗東市議会でも導入され、市民との意見交換会で活用されています。この流れは他の市議会にも波及しているとのこと。また、民間では、住友商事のオープン・イノベーション・ラボ「MIRAI LAB PALLETTE」主催「公民共創」について考えるワークショップでの活用がなされています。私は、この研修会で学んだSOUNDCARDを使い、議会においては委員間討議の闊達な議論と円滑な運営に、また市民との意見交換会や懇談会に活用していきたいと考えています。

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号

議員氏名（会派の名称）： さんかく春日

経 費 項 目	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費 資料購入費・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。
------------------	--

※ 領収書貼付欄（領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。）

— 領 収 証 —

11

さんかく春日

令和6年9月7日

春日市議会議員 西川 文代 様

NO. 5

金 額 2, 0 0 0 円

「SOUNDカード」の議会での活用法 輝け！議会 対話による地方議会活性化
フォーラムの受講料として、上記正領収いたしました。

〒813-0012 福岡市東区香椎駅東 2-13-18

ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州

代表 神吉 信之

— 領 収 証 —

10

さんかく春日

令和6年9月7日

春日市議会議員 北田 織 様

NO. 4

金 額 2, 0 0 0 円

「SOUND」カードの議会での活用法 輝け！議会 対話による地方議会活性化
フォーラム iの受講料として、上記領収いたしました。

〒813-0012 福岡市東区香椎駅東 2-13-18

ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州

代表 神吉 信之

政務活動費 資料購入費明細 令和6年度（さんかく春日）

品 名	数量	単 価	金 額	備 考
ポストコロナ時代の自治体議会改革講座	2	2,500	5,000	
SOUNNDカード	1	4,400	4,400	
		合 計 額	9,400	

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号

議員氏名（会派の名称）： さんかく春日

経 費 項 目	調査研究費・研修費・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費 <u>資料購入費</u> ・人件費・事務所費・事務費 ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。
------------------	---

※ 領収書貼付欄（領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。）

②

さんかく春日 領 収 書

北田 織 様

2024年5月20日

¥ 2,500-

上記正に領収いたしました。

但し、書籍『ポストコロナ時代の自治体議会
改革講義』代金として

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木545）

代表 高 沖 秀 宣

④

領 収 書

さんかく春日

西川 文代 様

2024年5月21日

¥ 2,500-

上記正に領収いたしました。

但し、書籍『ポストコロナ時代の自治体議会
改革講義』代金として

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木545）

代表 高 沖 秀 宣



領収書 RECEIPT

宛名 さんかく春日 様

金額 5,400 円

10%金額: 4,909 円 / 消費税等 491円

件名

SOUNDカード代金及び送料として

SOUNDカード 4400
送料 1,000.-

お支払い方法

クレジット払い

発行日

2024年9月9日

〒160-0022 東京都新宿区新宿三丁目12番4号
新宿Nタウンプラザ309号

オーセンティックワークス株式会社

登録番号: T5011001058773

TEL 03-6271-0339

別紙 4

領収書貼付用紙

整理番号

議員氏名（会派の名称）： さんかく春日

経 費 項 目	調査研究費・研修費・広報費・広聴費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費
	資料購入費・人件費・事務所費・ <u>事務費</u> ※該当する項目のいずれか一つを○で囲む。

※ 領収書貼付欄（領収書は、重ねたり折り曲げたりせずに貼付してください。また、領収書の大きさにより貼付することができない場合は、裏面に貼付するか、「別紙のとおり」として別紙を添付してください。）

発行日:2024年10月26日

領収書
さんかく春日西川文代様

¥10,868 (内消費税 ¥988)

但し イン 代として。

支払内訳
カード

¥10,868 10%対象

¥10,868 (内消費税 ¥988)

上記の金額正に領収いたしました。

株式会社ヤマダデンキ
群馬県高崎市栄町1-1
登録番号:T2070001036729

※印刷面を内側に折って保管願います。

印紙税由
付につき高崎
税務署承認済

管理No. 1114-407-0019430

伝票No. 1114-407-304249



6930433017 LC412XL4PK
BRJ 1:持帰 外10
9006108017 カイソ 持帰 外10
※520
ZZZ
¥10,400
412

ニッポンホテル

MrMax

株式会社ミスターマックス
登録番号:T290001076913

春日店

092-595-8700

★★★ アプリ会員募集中 ★★★
上記QRコードよりダウンロード
おトクなクーポンやチラシを
毎週配信します!!

領収証
(クレジット利用)

2024年08月24日(土)14:52 ビ*0001
責No00054746
チNo00054746

さんかく春日 様

¥9,385-

上記正に領収しました(消費税等
853円を含みます)

4988617266810JAN	エプソン純正インク	
	2コX単948	¥1,896
4988617266797JAN	エプソン純正インク	
	2コX単948	¥1,896
4988617266834JAN	エプソン純正インク	¥948
4988617266827JAN	エプソン純正インク	
	2コX単948	¥1,896
4988617266841JAN	エプソン純正インク	¥948
4988617266803JAN	エプソン純正インク	¥948
小計		¥8,532
(外10% タイヨウ		¥853
外10%		¥853
(税合計		¥9,385
合計		¥9,385
カード計		¥0
お釣り		(消費税等 ¥853)
お買上点数	9点	



領収書 RECEIPT

宛名 さんかく春日 様

金額 5,400 円

10%金額： 4,909 円 / 消費税等 491円

件名 SOUNDカード代金及び送料として SOUNDカード 4400 送料 1,000.-

お支払い方法 クレジット払い

発行日 2024年9月9日

〒160-0022 東京都新宿区新宿三丁目12番4号
新宿Nタウンプラザ309号

オーセンティックワークス株式会社

登録番号：T5011001058773

TEL 03-6271-0339